

大野市下水道事業経営戦略（公共下水道、農業集落排水）

○経営戦略の改定

急速な人口減少に伴う料金収入の減少や保有する施設の老朽化に伴う更新投資の増加など厳しさが増すなか、将来にわたって安定的に下水道事業を継続していくため、平成28年度に経営戦略を策定し、令和3年度に改定を行いました。

前回の改定から5年が経過し、人口減少による使用料収入の変化や物価・人件費・電気料金等の上昇への対応など、社会情勢や経営環境の変化を計画に反映するため経営戦略を見直します。

○経営戦略の位置づけ

経営戦略は、下水道事業（公共下水道事業及び農業集落排水事業）の中長期的な経営計画として位置付けます。（計画期間：令和9年度～令和18年度）

○下水道事業経営戦略の構成

- ・現状分析と課題
- ・基本方針と主要施策
- ・投資・財政計画(収支計画)及び目標
- ・経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

下水道審議会のスケジュール

①9月1日 第1回下水道審議会

- ・経費回収率の向上に向けたロードマップ（案）の説明

②10月中旬 第2回下水道審議会

- ・経営戦略（素案）の説明
- ・経費回収率の向上に向けたロードマップの決定

③1月中旬 第3回下水道審議会

- ・経営戦略（案）の説明および決定
- ※令和9年3月末の策定を目指します。